

大府夏まつり企画に 取り組んでの感想・学び



健康スポーツ科学科 2年 萩原朱里

中学時代、体育祭の実行委員長や学級委員などリーダー的な仕事を幾つか務めました。どれも誰かからの声掛けで行うことばかりでした。どの役も、仕事を終えて達成感を感じることはできましたが、どこかやらされている感があり、達成感を感じることができても自信をつけることがあまりできませんでした。そこで、今回自分から立候補し、企画段階から参加する企画スタッフとして関わることで、自分はやればできるという自信をつけるとともに、初めての人や大人の方とコミュニケーションを取ることが苦手なので、そういったコミュニケーション力などを身につけたいと思い参加しました。

実際に参加しての感想は「楽しかった！」の一言です。

私たちの活動は、まつりの担当エリアを学生が中心になって一から作り上げることでした。パソコンの作業などを含め、初めてなことが多く、わからないことばかりで大変でしたが、活動先の方々がサポートしてくださったり、他のメンバーが話し合いの際に積極的に案を出したり、考えてくれたりして進められました。大体打ち合わせは毎回2、3時間程度行いますが、その時間が本当に一瞬で過ぎるぐらい内容が濃く、楽しい時間でした。また、まつり当日も当日メンバー全員が任された仕事を最後まで手を抜くことなくやり切ってくれたおかげで大成功で終わることができ、このメンバーで今回の夏まつりを運営することができて本当に良かったと心から思います！

何かを行うにしても、それを行う環境はすごく大事なと感じました。今回、企画・当日メンバー含め、活動先の方々が私たちの行動に対してすぐに対応してくださったり、人間力開発センターのスタッフの方も場所の提供や私たちが困っている時には声をかけてくださったりとたくさんの人に助けていただきました。一人一人の「成功させたい」「足を運んでくださる方に楽しんでもらいたい」という強い気持ちが、このような行動に繋がり、夏まつりを大成功で終了することができたと思います。

私自身、コミュニケーション力はもちろんですが、1番は行動力が身についたと感じます。今まで失敗するのが嫌で、他の人に任せたり、大事な仕事を避けたりしてきましたが、今回は私から声をかけ、積極的に行いました。正直わからないことだらけでこれで合っているのか、大丈夫なのかと不安になることも多くありましたが、スタッフの方に助けていただいたり、活動先の方に確認をしたりして、初めてのことにたくさん挑戦することができました。そうしたことで、たくさんの方から「ありがとう」「頼りになる」などと声をかけてもらうことができ、誰かの役に立てることはすごく気持ちが良いことで相手も嬉しいし、私自身も嬉しい気持ちになることだと思いました。私から積極的に行動することで、他のメンバーも助けてくれたり、一緒に案を考えてくれたりしてメンバーの士気を高めることができたと思うので、これからも失敗を恐れることなくさまざまな新しいことに挑戦していきたいです。

